

平成30年度日本NGO連携無償資金協力
「北部・中部2省における少数民族の幼稚園・小学校教育改善事業」
贈与契約署名式における挨拶
(2018年10月1日(月) 15:00～、於:大使公邸)

プラン・インターナショナル・ジャパンプロジェクトマネージャー 奥村真知子様
コントウム省教育訓練局 幼稚園・小学校教育課長 ヴォ・スアン・トゥイ様
ご列席の皆様

- 本日は、関係者の皆様をお迎えし、平成30年度日本NGO連携無償資金協力「北部・中部2省における少数民族の幼稚園・小学校教育改善事業」の贈与契約署名式を執り行えることを、大変嬉しく思います。日本政府を代表して、一言ご挨拶申し上げます。
- 今年2018年は、日越外交関係樹立45周年を迎えており、日越両国で200を超える記念行事が実施されてきております。本件贈与式典もその一環として実施されています。
- 現在の日越関係は、非常に緊密であり、これまでで最良とも言われていますが、その背景の一つに両国間の強い親近感と信頼感の存在があると考えます。そしてそのような親近感・信頼感を育組むことが出来たのは、長年にわたりベトナム社会の発展に尽力されてきた個人やNGOの皆様の貢献も非常に大きいと考えます。
- ベトナム山岳地域に点在する少数民族の多くは、未だ貧困と向き合っています。こうした少数民族の方々の生活改善は喫緊の課題ですが、その課題の克服のために「教育」が果たす役割は、大変大きいと認識しています。
- 本プロジェクトは、ライチャウ省及びコントウム省において、少数民族の子どもたちの学習環境を改善することを目的としたもので、今年度は3か年計画の最終年となります。

- この2年間、プラン・インターナショナル・ジャパンの皆様は、着実にプロジェクトを進めてこられました。その結果、幼稚園と小学校を併せて6校の新校舎が建設されるとともに、教師の人材育成を通じた授業内容の改善も順調に進んでいます。
- 本プロジェクトを通じて建設される幼稚園・小学校が、少数民族の子どもたちの明るい将来へと繋がるのが日本国民の願いです。プラン・インターナショナル・ジャパンの皆様のこの2年間のご尽力に感謝申し上げますとともに、3年間の総仕上げを宜しくお願い致します。
- また、ミズノ株式会社より、本プロジェクトを通じてこれまで建設された6校の幼稚園・小学校及びこれから建設予定の3校の幼稚園・小学校の子どもたちに、合わせて9個のサッカーボールを寄贈いただきました。プラン・インターナショナル・ジャパンを通じて、子どもたちにお届けいただければと思います。
- 最後に、皆様の御健勝、本プロジェクトの成功、日越関係の更なる発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。（了）